

事故報告書

フルーツ・シャトーよいち

総合施設長	副施設長	援助課長	課長補佐	医務課長	相談員	担当

フリガナ	●●●●	男 <input checked="" type="radio"/> 女	要介護 3	移動	<input type="checkbox"/> 独歩 <input type="checkbox"/> 歩行器 <input type="checkbox"/> 杖歩行 <input type="checkbox"/> 車椅子 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (付き添い歩行)							
本人氏名	●●●● 様	94 歳										
報告者	●●●●			発生(発見)日時	平成25年05月06日(月) 09:20 分頃							
場所	<input type="checkbox"/> 居室 <input type="checkbox"/> ホール <input type="checkbox"/> 浴室 <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> 拠点フロア <input type="checkbox"/> 廊下 <input type="checkbox"/> 階段 <input type="checkbox"/> 屋外 <input type="checkbox"/> 送迎車内 <input type="checkbox"/> その他 ()											
状況	<input checked="" type="checkbox"/> 転倒 <input type="checkbox"/> 転落 <input type="checkbox"/> 誤食 <input type="checkbox"/> 誤嚥 <input type="checkbox"/> 誤薬 <input type="checkbox"/> トラブル <input type="checkbox"/> 単独外出 <input type="checkbox"/> 介護中 <input type="checkbox"/> 不明 <input type="checkbox"/> その他 () 自らトイレに行かれた為、後を追いついてトイレ入り口で能代氏の右側の腋を支え付き添い歩行する。その後トイレ入り口から数歩歩き、トイレ入り口のカーテンを閉めようとした際にバランスを崩し、体左側を下にして座り込むように職員と共に転倒され、そばに置いてあった踏み台に左脇腹をぶつけてしまう。 施設内連絡 9:25 援助課長に転倒した件を報告する。 9:30 総合施設長へ転倒した件を報告する。											
症状	<input type="checkbox"/> 無傷 <input type="checkbox"/> 表皮剥離 <input checked="" type="checkbox"/> 擦過 <input type="checkbox"/> 切傷 <input type="checkbox"/> 内出血 <input type="checkbox"/> 火傷 <input type="checkbox"/> 腫れ <input type="checkbox"/> 変色 <input type="checkbox"/> 熱感 <input type="checkbox"/> その他 ()					部位	左脇腹					
	左脇腹に直径5cm程の擦過傷見られる。他身体観察行うも腫れや変色は見られず。転倒直後は左脇腹の痛みを訴えるも、その後は痛みの訴え聞かれない。											
対応	<input checked="" type="checkbox"/> 様子観察 <input type="checkbox"/> 湿布 <input type="checkbox"/> 冷却 <input type="checkbox"/> 吐かせる <input type="checkbox"/> 吸引 <input type="checkbox"/> 止血 <input type="checkbox"/> 受診 <input type="checkbox"/> その他 () 排泄の訴え聞かれた為トイレ誘導行う。その後臥床勧めるも拒否される為拠点に案内する。その後医務に連絡し、アズノール軟膏塗布し様子見る。 その後10:55に嘔気と背部痛の訴え聞かれた為看護師に連絡し、12:10に協会病院受診となる。受診の結果特に問題無いとの事で痛み止め、吐き気止め、湿布処方され帰園される。 夕食後には嘔吐や痛みも消失され、訴え聞かれることなく過ごされる。											
バイタルサイン	体温	36.9 °C	血圧	139 / 78 mmHg	脈拍	67 回/分	SP02	%	計測時間	9 : 3 0		
要因・原因	<input type="checkbox"/> 見守り不足 <input checked="" type="checkbox"/> 知識・技術不足 <input type="checkbox"/> ルール不遵守 <input type="checkbox"/> 情報不足 <input type="checkbox"/> 環境・設備 <input type="checkbox"/> 設備・点検不足 <input type="checkbox"/> 人為的問題 <input type="checkbox"/> その他 () 拠点対応していた職員が1名しかおらず、●●氏がトイレへ歩き出した為付き添う事で拠点に見守り職員がいなくなってしまう事で慌ててしまった事と、普段歩行状態が比較的安定していた為転ぶ事は少ないだろうという過信が転倒に至った原因と考えられる。											
事故防止対策	・付き添い歩行が必要な利用者は、歩行が安定していても転倒が考えられる事を常に意識して付き添い歩行を行う。 ・付き添い歩行する際は、バランスを崩してもすぐに支えられる位置で付き添う。 ・●●氏は歩行時にふらつきが見られる事もある為、今後は腋の下に手を入れて付き添い歩行することを徹底する。 ・利用者対応する際、拠点に職員が不在になる場合は他の職員に声を掛け、落ち着いて対応するよう指導する。											
	かフリスの必要性について		<input checked="" type="checkbox"/> 不要 <input type="checkbox"/> 必要									
家族への説明	平成25年05月06日(月)		説明方法		<input type="checkbox"/> 面会 <input checked="" type="checkbox"/> 電話		説明職員		●●●●			
	家族氏名		●●●●氏					続柄		息子		
	転倒した件と受診になった事を電話にて報告し謝罪を行う。また何か変わった事があつたら連絡する事を伝え「わかりました」と返答される。											